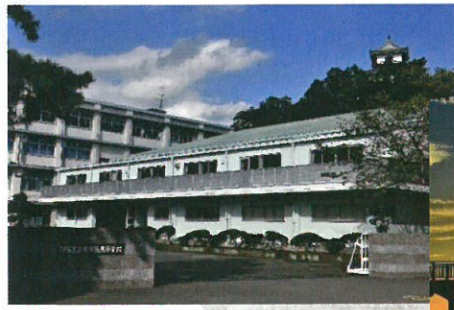
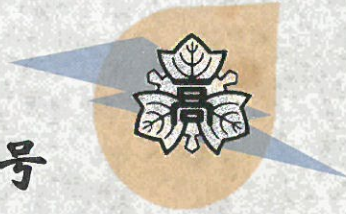


平成30年11月17日

東京掛中・掛西同窓会
東京冀北会会報

東京冀北

30周年記念 第30号



掛川西高校



潮騒橋



掛川城



東京冀北会
会長
鈴木 正具
高十九回卒

三十周年を迎えて

平成元年に産声を上げた東京冀北会は、今年目出度く三十周年を迎えました。どれだけ参加者が得られるのか心配しながら進めた創立総会に三百名近い会員が集まり、虎ノ門パストラルの広間が満杯になった思い出や、創立当初からの発展にご尽力された複数の諸先輩方が残念ながらお亡くなりになられるなど、三十年の年月は、確実にそれなりの長さがあり、感慨深いものがあります。

東京冀北会の誕生は、久しく開催されていなかった掛川中学の同窓会東京支部の再開でもありました。この辺りの経緯は、『東京冀北』第十号に掲載されている「知事に聞く 座談会」などで語られていますが、実現できたのは発足当時自治省におられた石川嘉延現掛川西高同窓会会長の企画力と行動力に大きく負っていました。そして、その後今日まで三十年間継続できたのは、発足から十年に亘ってこの会を引っ張ってこられた岡本甲子男初代会長の「継続」に対する強い決意が今日まで生きてくる結果でもあります。勿論、このお二人以外にも歴代の会長、役員

をはじめとして会の発展に尽力してこられた多くの同窓生がいることを忘れることはできませんし、そして何よりも、この会を今日まで育ててきた主役は、会に参加し、会報に記事を寄せ、会費を納め、あるいは会に消息や声援を寄せてくれていた会員一人一人の強い思いであると思います。

当会の将来について、十周年の『東京冀北』には、当時の岡本会長が「若い世代が積極的に参加し運営して、同郷同学の拠りどころとして育てて頂きたい」、また、二十周年の『東京冀北』には当時の河原崎守彦会長が「私ども心の中に残る青春の気分、爽やかな微風を吹き込んでくれるものとして、今後とも大切に育てて頂きたい」と書いておられます。会報に書いておられたその場に意義や価値をもたらすのは、そこに集う会員一人一人であって、その母校愛や郷土愛の集積によって東京冀北会が育つのだという共通の認識が書かれているのだらうと思われまふ。今回、三十周年に廻り合わせた会長として、将来にわたってこの会を「青春の気分、爽やかな微風を吹き込んでくれる」「同郷同学の拠りどころ」として育てて頂きたいと、改めて会員の皆様にお願ひしたいと思います。そして、皆様の力をもって、より広い世代の同窓生が集い、会がますます発展できることを願う次第です。

(*)掛川中学同窓会東京支部：昭和四九年まで存続。中二四松本信孝氏記事「東京冀北」三号

第29回東京冀北会総会・懇親会会計報告 (平成29年11月18日)

出席者	会員 100名 (1・2部のみ参加98名)
来賓	8名 (石川嘉延同窓会長他7名)
計	108名
収入の部	
懇親会費	7,000円 × 95名 665,000円
	6,920円 × 1名 6,920円
当日年会費	3,000円 × 68名 204,000円
	3,000円 × 1名 (来年度分) 3,000円
祝儀	掛川西高校長、同窓会会長他3人 60,000円
広告代収入	11名 67,000円
計 (A)	1,005,920円
支出の部	
会場・懇親会費 (レストランアラスカ)	605,128円
諸経費 (来賓土産・会報印刷代・講演者等交通費等)	124,823円
計 (B)	729,951円
差収入 (A) - (B)	275,969円
(余剰金275,969円は一般会計に繰り入れ)	
寄贈品	掛川市役所様・静岡県事務所様・赤岩覚様(高10)・竹原繁男様(高16)・栗田民雄様(高17)・山村十吉様(高23)・下村葉子様(高26)・野川雅江様(高26)
平成29年11月19日	東京冀北会事務局長 山村十吉(高23回卒)

平成29年度東京冀北会収支報告 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(収入)前年度繰越金	505,395円
年会費	郵便振替分(148名) 444,000円
	銀行振込分(9名) 27,000円
	現金納入分(68名) 204,000円
	現金納入分(1名)来年度分 3,000円
総会・懇親会参加費(96名)	671,920円
幹事会費等(7/13・1/16)(個人負担)	160,000円
広告費収入	67,000円
雑収入(寄付金・祝儀等)	70,001円
収入合計 (A)	2,152,316円
(支出)印刷費(案内状、会報)	99,104円
総会通知郵送費(1,766通)	144,812円
総会返信後納費*	25,390円
総会・懇親会費	729,951円
幹事会・反省会等費用**	254,950円
通信費(郵送費等)	39,312円
事務費・振込手数料	11,638円
各支部ご祝儀・交通費(掛川・浜松)	40,000円
支出合計 (B)	1,345,157円
(収支残高) (A) - (B) (次年度繰越金) =	807,159円
【資金管理】郵便貯金	491,920円
みずほ銀行	305,171円
現金	10,068円
会計監査	橋本和久(高19回卒)

第一応援歌
作詞・作曲 不詳

一、天守の森に草萌えて
志ある若人の
胸の血潮の燃ゆる時
咲くや万葉の花ごころも

二、青苔敷ける逆川の
青葉端月に風吹けば
熱血ほほにみなぎりて
見よや勇士のまなざしを

三、立てよ我等のますらをよ
ふるへ我等の同胞よ
七百望みは胸に燃え
衷心至誠の血はおどる

校歌
作詞 藤井金吾
作曲 堀福寿

一、岩根ごごしき天守台
その麓にぞわが校は
基定めて逆川の
栄え行くこそ榮しけれ

二、雨降り嵐すさぶとも
指してや行かむ小笠山
希望の懸を射るまでは
めげず撓まず崩折れず

六、やがてまことの功なし
誉れは栄ゆる百錦
飾りて花の色そへよ
大和鳥根の山桜

『東京掛中・掛川西高校同窓会 東京冀北会』
<http://www.tokyo-kihokukai.com/>

《メーリングリスト》を開設しています。
問合せ：東京冀北会 事務局
tokyo.kihokukai@gmail.com

東京きほく会 検索

発行日 平成30年11月17日
発行者 鈴木 正具
発行 東京冀北会

《編集後記》事務局 端詰正子(高24回)

今年には台風の当たり年。日本各地に大きな被害をもたらした。静岡県西部においても二四号の暴風雨による大規模停電等の被害、また袋井市可睡齋総門の倒壊が報道され、地元では大変であったことと思います。

「可睡齋」と言えば今年四月に「順天堂第三代主佐藤進に繋がる学問の四大志士展」への協力依頼があり、大日本報徳社社長に直前に就任された鷲山恭彦さん(高14回)もスタッフであるという関係で情報をHPとメーリングリストで流した。「三遠南信」とは愛知県東三河、静岡県遠州、長野県南信州のエリアを指し、「日本の近代化に貢献した偉人達」として掛川の山崎寛次郎、松本龜次郎があげられ、「可睡齋」は佐藤進の「可睡齋活人剣」エピソードで取り上げられていた。展覧会初日に何人かで参加した。掛川市副市長はじめ関係者の方々も来場してご地元の話で盛り上がり懐かしも時間を過ごすことができた。その後鷲山さん、前掛西校長の戸塚先生(高27回)ご夫妻、中山前会長他四人と共に急遽ゆかりの中華料理店での会食に参加し、私としては思いもよらない貴重な時間をすごさせて頂いた。橋渡しをして下さったHP歴史探訪の三谷充弘さん(高26回)のご尽力にいつも感謝しております。

情報時代だからこそ高まる 同窓会の意義



掛川西高校
同窓会長
石川 嘉延
高十一回卒

東京冀北会発足三十年、誠に
とうございます。この間、会の活
運営を実現してこられた岡本甲子男初
代会長をはじめ歴代の会長や役員
の方々の尽力に深甚なる敬意と感謝を
表しますとともに、本会発足に一員と
して参画したものと深い感慨を覚
えるものであります。

東京冀北会が発足した平成元
年から平成に元号が代わったとい
うことだけに留まらず、アルビ
ン・トブラーが「第三の波」で予
言した脱工業化による第三次産業
革命の進展と情報社会到来とい
う歴史的大変化が現実のものとし
て感じられ始めた時期でもあり
ました。「ものより情報の価値が高
まれば、いわゆる人脈の重要性が益
々高まる。異年齢者間で手取り早
く、安心して人脈を形成できるの
は同総会での出会いに勝るもの
はないのではないか」というのが
発足に携わった関係者の共通した
思いでありました。

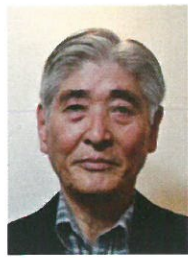
その後の三十年間で、会発足
当初にはなかったインターネットの
出現に始まり、スマホ、クラウド
コンピューティング、フィンテック、
IoT、AI等々、次から次へと情報の
通信・処理・利用技術の著しい進
化により社会のあらゆる分野で急
速な変化が始まりました。この変
化に対し、若い年代ほど苦も無く
対応できるのに対し、年齢が高
くなればなるほどこれについて
ゆがみ、この年代間の分断が大
きな社会問題化する懸念が取り
ざたされる状況です。

こうした変化の中で、東京冀
北会総会に出席する都度感心させ
られます。古くは、若い年代ほど
苦も無く対応できるのに対し、
年齢が高くなればなるほどこれ
についてゆがみ、この年代間の
分断が大きな社会問題化する懸
念が取りざたされる状況です。

こうした変化の中で、東京冀
北会総会に出席する都度感心
させられます。古くは、若い年
代ほど苦も無く対応できるの
に対し、年齢が高くなればなる
ほどこれについてゆがみ、この
年代間の分断が大きな社会問
題化する懸念が取りざたされ
る状況です。



祝三十周年、そして 六十年前の思い出



東京冀北会
第四代会長
河原崎 守彦
高九回卒

東京冀北会が三十周年を迎え
られたこと、誠にめでたくござ
います。その間の関係者の皆様
や会員の皆様のご尽力に敬意を
表しますとともに、特に近年
鈴木会長のご指導の下、若い
方々の参加を得て、会が元気に
活動しておられることを大変嬉
しく思います。

私は最近、マンションの同好
会の方々と一緒に、古い映画
「グレンミラー物語」を見まし
た。そして今から約六十年前に
掛川の映画館（どこの館だっ
たか忘れましたが）で見た時
の感動を、懐かしく思い出しま
した。ジェームズ・スチュワート
もジュリアン・アリソンも若々
しく、特に妻役のジュリアン・
アリソンがなげなしの蓄えをは
たいてグレンミラーに楽団の創
設を勧めたことなど、夫妻が幾
多の試練を乗り越えて夢を現
現させて行く姿が、ムービー
ライオンセレーネなどの軽快な
音楽とともに、ほのぼのと心に
しみわたるものでした。物語は
戦争中のことなのですが、そこ
には堅実な生活、夢そして善
意があり、若い頃の私は（そし
て今も）その思いを引きずって
いるのですが、このような映画
などの影響を受けて、自由や
人権や合理的な



掛川西高校
校長
土井 宏晃

東京冀北会三十周年 を祝して

このたび東京冀北会が三十
周年を迎えられ、誠にめでた
くございます。日ごろより本校
の運営につきましまして、皆
様に御支援・御協力をいただき
、東京冀北会総会に出席させ
ていただくことに感謝申し上げ
ます。私は各地区的に、掛川
中・掛川西高の同窓生の皆様
の母校愛、そして本校への期
待を強く感じています。

現在在校生は九六七名、男
女ほぼ半々で、改装された快
適な教室で元気に学習・部活
等に取り組む、学校は大変活
気溢れております。生徒は様
々な方面で活躍し、最近、県
西部の高校の中で最も新聞に
掲載されるのは掛川西高校で
あると聞かれています。挨拶も
、地域の進学トップ校で、こ
れほどしっかりとできる高校は
他に無いと言えます。本校は
進学校ですので、授業を大事に
して確かな学力をつけること
が、授業として希望の進路を
実現することが最も大事なこ
とですが、高校生として一人
の人間として、勉強だけでなく
心のバランスがとれた全人教
育が大切であると考えていま
す。



掛川西高校ホームページ

生徒の活躍や学校の様子は、
ホームページで平日はほぼ毎日、
写真付きで更新しております。
皆様にも御覧いただきたいと思
います。そして再来年、本校は
創立一二〇周年を迎えます。学
校としても準備を進めており
ますが、皆様にも御支援・御
協力をお願いいたします。今
後、学校のお近くまで来られ
ることがあります。遠慮なく
母校にお立ち寄りください。
今後とも、宜しくお願いいた
します。

下ごしらえ



東京冀北会
元副会長
小関 啓司
高十四回卒

十年前前に会社勤めを辞めた
とき、真つ先に挑戦したのが料
理教室通いだ。自立には料理の
習得が不可欠だろうと思っ
たからだ。しかし、一年に
して挫折した。下ごしらえや
隠し味に工夫を凝らさない私
の料理を食べる気がしなくな
ったからだ。

東京冀北会の運営も料理と似
たもので、裏方の下ごしらえ
がなければ風味も出ないし、
回らない。私は創設以来三十
年間、いろいろな形で裏方
さんと係わりがあり、そのご
苦心を目の当たりにしてきた
ので、この機に感謝の気持ち
を込めて、皆様に紹介させ
ていただきます。

新会計年度は、まず新しい年
次幹事（六十歳になられる年
次）の方々の接触がスタート
となりますが、その道筋を見
つけることが意外と難しい。
兎にも角にもその方々の協
力をとりつけ、総会での卓話
の候補者、会報の執筆者の
検討など、総会に向けての大
仕事が始まります。卓話は総
会のいわばメインディッシュ
です。乏しい懐事情

の中で、この候補者をほぼ無
報酬という条件で探すのが、意
外というものです。冀北会に
は様々な方が、様々な分野で
活躍していることを知り、改
めて感服した次第です。能
力造りや彫金の分野で第一人
者となっておられる方のス
ライドや実物を通しての解
説、歌曲に係わっておられる
方の喉とピアノを駆使しての
日常活動の紹介等々、その
方々が同郷、同窓の人である
だけに、誇らしく心に響く
ものがあります。総会では必
ず会計報告があります。そこ
で「時期繰越金は五万円増の
五十万円となりました。」など
という控えめな数字が披露さ
れますが、私はその都度裏方
の方々に深く頭を下げるには
おられません。何回にも及ぶ
打ち合わせにはもちろん手
弁当。また総会案内の封書
詰めも経費削減のため業者に
委託せず、自らの手作業。僅
か五万円増の裏に、裏方さん
のいく種類もの隠し味が含ま
れていることを、是非皆さん
にもご賞味いただけたらと思
います。



私の高校時代



村松 岐夫
高十回卒

私の人生約八十年は、二分すると、掛川十八年とそれ以降です。一八年で一区切りです。

十八年は短いですが、掛川での経験は決定的でした。人生後半の土台になった前半であって、その後現在までの六十年の一区切りに相当するのだと今これを書きながら感じます。

父母兄弟姉妹の思い出と小中高の学校生活が、十八年にキュッと詰まっている。この十八年の箱の中の、文字へのあこがれ、社会への知識欲や希望などの種が、後半の人生に広く展開していったように思われます。小中学校の勉強成果も高校に流入し、高一、高二、高三の中に蓄積される。蓄積のなかにあった栄養分がどの程度であったかは自信がないが、それらが全部出ていった先が京都です。中学時代のテニス(かなり激しい練習でした)で得た体力は役に立ちました。

もともと、十八年が区切りで、その後は掛川とは別の道に入ったというのではありません。大学時代にも、研究者になつてからも、掛西高からの河原情報番組で応援団指導部を取材した時には、静岡のスタジオで実際に演舞を披露してもらった。ゲストだったルー大柴さんも目を潤ませるほど感動していた。

選抜高校野球大会の試合中に放送した学校紹介も、母校だし、最後だし、記念だからと、取材からナレーションまで全てを担当させてもらった。取材に訪れると、在校生が大きな声で気持ちの良い挨拶をしてくれた。感心するディレクターやカメラマンの横で、私も卒業生として誇らしかったのを覚えている。

振りかえると、アナウンサーという職業に導いてくれたのは、高校時代の担任の先生だった。進路相談で「夢がない」とうつむく私に「アナウンサーなんていいじゃない」と先生。当時の私にアナウンサーという職業は選択肢にもなかったが、先生の一言がきっかけとなり夢を持つことができた。

幸運にも実現させることができた私は、今も東京でアナウンサーとして活動し、平日はNHK・BS1で経済番組を担当している。

卒業して何年たっても変わらない。掛川西高校は、いつも私の中にある。(フリーアナウンサー)

崎君、大場君、横山君、後輩の赤堀君、小関君や桜井君、山浦君などの人たちがずつと良い相談相手でした。桜井君にはお医者さんとしてのアドバイスをいただきました。掛西高第十回卒の同級生は、今も一番の友だちです。私の娘は京都生まれですが、家庭内でもあまりに掛川のことを私が話すので、自分たちの郷里も掛川と錯覚してしまうなどと言います。

個人的なつながりは薄かったかもしれないが、十八歳までに接触する大人は、家族を除けば、先生です。小中学校時代の先生も懐かしいが、高校に入ってから生物学の須田治先生や国語の高橋昭夫先生などの言葉の中からは勇気と知恵のようなものをいただきました。国語の六角幸子先生は、むしろ東京に引越してから親しくしていただきました。大人と言えば、実は河原崎君のお父上も徹夜して一緒に話をしてくれた懐かしい人です。

私は研究者になつて六十年。結構長いと思うのですが、いままも、人文学と社会科学のデータアーカイブ構築のお手伝いをしています。皆さん、また協力してください。

行政学者、政治学者。京都大学名誉教授。一九八一年サントリ学芸賞を受賞、二〇一四年瑞光中綬章を受章、二〇一七年十一月文化功労者。

挑戦——経営のグローバル化を目指して



佐野 角夫
高八回卒

掛西時代は、土方村から一時間かけて砂利道を自転車で通学し、足腰が強くなった。五十三年入学と同時に図書委員に選ばれ、部室で海外の小説を原書で読んで先輩の姿に接し、英語に興味を持ち独力で勉強した。夏には山岳部の仲間と北アルプスに登山し、掛川の祭りでは初めて酒も飲んだ。のんびりとした高校生活だった。

早大では、神宮球場へ野球の応援に行ったり、新宿に出かけて酒を飲んだり、同級生の地元へ旅行したりよく遊んだが、研究会に入り企業法の勉強に力を入れた。

就職は六十一年ソニー株式会社。国内営業や米国財務・本社社長室・上場会社トップなど様々な業務を担当したこの間、創業者の盛田昭夫さんと共にニューヨーク取引所上場・米国格付取得・音楽や映画会社の買収など、日本企業としては初めての挑戦を続けた。企業法制や税制の改革にも挑んだ。欧米で出来るのが日本では全て禁止され、国際競争上不利であったからだ。自社株保有・株式交換による買収・ス

掛川西高校と私



高須 沙知子
高四十八回卒

二〇〇九年三月二十六日、木曜日。NHK静岡放送局でキャスターを務めていた私は、夕方十八時台のニュース番組の生放送終了後、上司に「声をかましてないようね」と声を掛けられた急いで局を出て、静岡駅から下りの新幹線に乗って甲子園に向かった。

翌三月二十七日、金曜日。掛川西高校が第八十一回選抜高校野球大会の一戦を迎えた。私のNHK静岡放送局での、最後の出勤日でもあった。夫の東京転勤に伴い、その日をもつてNHK静岡放送局を辞めることになってしまった。

掛川西高校は第一試合で宮城県代表の利府高校と対戦した。内山江塚が二発、三塁打を打ち、試合は二死一塁で迎えた。私のNHK静岡放送局での、最後の出勤日でもあった。夫の東京転勤に伴い、その日をもつてNHK静岡放送局を辞めることになってしまった。



2009年3月28日 日刊スポーツ
——日刊スポーツ新聞社 提供——

戦。残念ながら四一〇で負けてしまったが、終盤に追い上げ、アルプスタンドで皆で歌った第二応援歌は忘れられない。

試合後すぐに静岡に戻り、担当していた夕方ニュース番組の生放送に出演した。上司のアドバイス通りに声をからすことなく、NHK静岡での最後のトップニュースで、母校の試合結果を伝える機会に恵まれた。

NHK静岡放送局には六年間在籍し、何度か母校を取材させてもらった。



トックオブション・持株会社・連結納税などである。改革が実現したのは二十世紀の終わりであった。大蔵省や経産省の審議会にも参画し、証券市場の国際化や企業のガバナンス・コンプライアンスにつき提言してきた。

今は経営者には恵まれた時代だ。株式公開からM&Aまで何でも自由にできる。一方で、不正会計や品質不正など企業の不正行為が相次ぎ、経営者の規律が失われている。あつてはならない事だ。



成田屋「助六」上演

邦楽等に關する勉強会を月二回と、二年二回程度の観劇会を続けて参りました。

ニューヨークに住を終えた少し後、一九八三年からイヤホンガイドの歌舞伎英語解説を始め、後に文楽もイヤホンガイドの英語解説を開始したのに伴い、依頼を受けて、双方の解説づくりに約三十年携わりました。

「花の会」を主宰して



池田 孝子
(旧姓 鈴木)
高十四回卒

冀北会三十回、役員皆様の御苦労お察し致します。

私も「花の会」という古典芸術研究会を主宰して、今年九月で三十三年になります。狂言、能、文楽、歌舞伎、



その間に出来た人脈等のお陰で、「花の会」には各方面の一流講師を迎える事が出来ました。会員も熱心で知識も豊富なので、講師方と和気あいあい楽しく学んでいます。皆の高齢化で出席者が四十人ほどに減り、講師も亡くなる方が出るなど、心細いこの頃です。会計や会場取り等は役員に任せられますが、テーマを考えて講師と打合せ、スケジュールを調整すること等は、手伝ってもらえる人がありません。継続が段々重荷に感じられる様になりましたが、冀北会の皆様の御活躍ぶりに触れますと、もう暫く頑張ろうかと奮起させられます。

道楽として、河東節(カトウブシ)という三百年の歴史をもつ古曲をやつて居ります。成田屋(市川團十郎家)

の「助六」上演には必ず私共が出演します。掛西時代からの親友が歌舞伎座のみならず名古屋や博多の講演にも観劇に来て下さり、西高での絆をありがたく思っています。

水田地帯の真ん中で



武田 陽子
(旧姓 田山)
高二十回卒

私は掛西卒業後、薬科大学に進み薬剤師として社会に出たのですが、現在埼玉県深谷市で、夫が経営する公認会計士・税理士事務所にて税金に係る仕事をしております。私共の事務所は、初代に当たる義父が兵役後昭和二十一年に帰国、計理士、税理士、中小企業診断員、公認会計士等の資格を取得開業いたしました。従って夫が二代目ということになります。

結婚により入所した昭和五十年十二月当時は、総務、運転手、又、会計事務合理化の為のコンピュータ導入等の仕事をしておりました。入所後約八年位経った頃より相続税申告の仕事を担当しました。

約三十年経った現在もその業務を主に、税理士事務所の仕事を続けております。相続税の申告には、税務の基準に従った財産の評価が基になります。特に土地の評価については現地確認を基本に適正に評価額を算出するように努めております。税務の基準が毎年のように変わり毎日が勉強です。

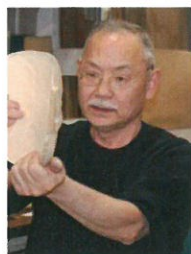
又、埼玉県北部の小都市にも時代の流れは確実に押し寄せ、農地もお金になるものとなり遺産分割の考え方も人により様々で、相続人同士の争いも起こるこの二十年です。

次男が監査法人を退職し、平成二十五年秋より武田経理事務所三代目として職務に励んでくれており、肩の荷が軽くなった気がいたします。

これからも水田地帯の真ん中で家族、仕事、友人を大切に、風にそよぐ葦のように時を重ねて往きたいと望んでおります。



第一回創作面公募展にて大賞受賞



水谷 靖
高二十回卒

この度、「第一回創作面公募展」に於いて待望の最優秀賞「能楽の里大賞」を受賞する事が出来た。能面制作を志してから二十二年目となる。技術をマスターするには十年掛かると職人界ではよく云われるが、「能面」は二十年掛かると云われている。技術十年、「能」を学ぶ事に十年必要だという。



山姥 - 水谷元宗

十年修行した頃から福井県今立郡池田町主催「新作能面公募展」に出品する様になった。第十六回まで「秀作」二回、「実行委員会特別賞」一回、「福井県教育委員会賞」二回、「池田町長賞」を一回頂いた。中でも「福井県教育委員会賞」を受賞した「若女」は同公募展で企画された演能「紅葉狩り」の前



2018年3月 (インドネシア)
日本インドネシア国際友好展
「ネオアジアネオジャポン2018」
カタログと会場風景

シテに使用された。今回の受賞作「山姥」は、人間性を保ったまま、「山姥」になりきれない容姿を口元で表現した。現在、この「山姥」は池田町の能面美術館に常設されている。今回の「創作面公募展」は今までの「写し」ではなく、新しく「創作」の能面公募展として始まったものである。しかし能面は「写し」が基本であり、それらを踏み外すと「能面」にはならず只の「仮面」となってしまう。これからは、なお一層「能楽」の理解を要求される。

掛川で忘れられた音楽家 鈴木毅一について



戸塚 喜久
高二十四回卒

滝廉太郎は「荒城の月」の作曲者としてあまりにも有名ですが、滝の親友の鈴木毅一(きいち)について知る人は少ないのではないのでしょうか。次のがきは、明治三十四年九月四日、滝廉太郎が留学先のドイツ・ライプツヒから、掛川・仁藤の鈴木毅一宛に送ったものです(小長久子『楽聖滝廉太郎の新資料』昭和三十八年)。

七月二十三日と二十七日附の御書面本日同時に落手仕候。何にも何にも承知仕候。此はがきは掛川お宅宛お送り申上候。
明治三十四年九月四日
滝 廉太郎

滝廉太郎研究家の小長久子氏によると、当時、鈴木毅一は宮崎師範学校に勤めていたところ、明治三十四年九月二十日休職しているの、その相談への返事がこのはがきではないかと推定しています。鈴木宛書簡は全部で二十二通あり、滝廉太郎研究にとって貴重な資料となっています。二人の略歴を整理すると次の通りです(『東京音楽学校一覽』各年版)。

出生年	出生地	音楽学校	卒業後の進路
鈴木毅一 明治10年	掛川・仁藤	28年本人入学	33年 宮崎師範学校
滝廉太郎 明治12年	東京・芝	27年本人入学	34年 ドイツ留学
		32年師範部	
		31年専修部	

鈴木は、明治十年六月二十二日、掛川・仁藤生まれ、掛川高等小学校、静岡を経て東京音楽学校予科入学、本科専修部進学、師範部を首席で卒業しています。年齢的には滝より二才上ですが、音楽学校では滝の一年後輩です。在学中、「鈴木さんは瀧さんのいる所には常に、必ずいた」(安藤幸(幸田露伴の妹)の回想、『音楽の友』昭和二十二年)と語られているように、二人は「無二の親友」でした。

鈴木は音楽上の業績は、滝・東クメ夫妻とともに『幼稚園唱歌』(鳩ぽっぽ)「お正月」「雪やこんこん」等、共



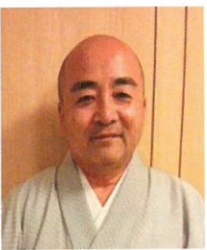
滝廉太郎(左)と鈴木毅一(右)
宮瀬睦夫「滝廉太郎傳」(関数書院)

益商社編、明治三十四年)の企画・編集に加わったことです。鈴木は、「猫の子」「白よ(い)い」「風車」を作詞・作曲しました。幼児の視点から編集されたこの唱歌集は現在でも高く評価されています。

鈴木は宮崎から上京後、府立三中で嘱託教員をしながらドイツ留学を目指しますが、途中で断念、明治四十四年から愛知第二師範学校、大正十四年から新発田高等女学校で音楽教師を勤めました。府立三中時代、芥川龍之介らに「唱歌」を教える一方『両国高校百年誌』、音楽部の顧問として『洋楽』を指導しました(府立三中『学友会雑誌』第十八号)。また、女子音楽伝習所(飯田町、生徒数三十五名)の所長を歴任(『早稲田文学』明治四十一年)、明治後期における尋常小学校の音楽教育の「ひ・ふ・み」か「ド・レ・ミ」かの論争では後者を支持しました(『音楽界』明治四十二年)。

明治三十三年、三浦環(国際的プリマドンナ、旧姓柴田、両親が遠州・城東郡出身)が音楽学校予科に入学、滝のドイツ留学送別会(明治三十四年)で「トルコ行進曲」を弾きます(『学友会々誌』第九号)。滝廉太郎(嘱託教員)と三浦環はピアノの師弟関係です。滝廉太郎と郷土との深い縁に驚くばかりです(映画『わが愛の譜・滝廉太郎物語』(澤井信一郎監督)では鈴木毅一役を雨宮良、三浦環役を佐藤しのぶが演じました(一部創作あり))。

福田恆存は掛中を臧首されたのか



三谷 充弘
高二十六回卒

第百回全国高等学校野球選手権大会の静岡県予選で、掛川西高は「七十八年ぶりに夏の甲子園出場を目指す島田商」に準々決勝で敗れてしまいました。思えば七十八年前の島田商は全国的な強豪校で、昭和十二年春から十六年春まで、昭和十三年夏を除き、春夏全ての甲子園に出場し、昭和十四年は春夏ともベスト四、昭和十五年春はベスト八、同年夏は準優勝という輝かしい戦績を残しています。(昭和十六年夏以降は戦争のため中止)そして昭和十三年夏こそは、名古屋軍(中日ドラゴンズの前身)のエースとなった村松幸雄を擁する掛川中が山静大会(※)で島田商を破って甲子園に初出場を決めた大会なのです。

(※)山梨県・静岡県の各々の優勝校・準優勝校、計四校でのトーナメント戦)

その昭和十三年五月に新進気鋭の英語教師として掛川中に着任したのが福田恆存(つねあり)です。そして福田の『問ひ質したいことども』(『中央公論』昭和五十六年四月号所載)によると次

のような事件が起き、福田は僅か一年三カ月で掛川中を退職します。

①村松幸雄（福田の原文ではA）の白紙答案に零点を付け、当時の多木校長と対立した。

②翌年春の入試の及落会議で、及第点を取れなかった藤枝小学校出身の有望な投手の可否判定について福田と多木はまた対立。多木は福田に辞職勧告をした。

③後任が決まるまで三〜四カ月待った後、受持の生徒が「先生、なぜ辞めるのですか？」と問うので、二〜三時間かけて『坊ちゃん』を朗読し、それ以上は何も言わなかった。

また福田の生前に刊行された『福田恆存全集』第七巻（昭和六十三年）の年譜によれば、「自分では辞職のつもりだったが、後年、辞令を見ると『餓首（かしくしゅ）』になっている」。

福田についての評伝はこの件を取り上げ、掛川中にネガティブな印象を与える書き方をするのが通例です。

例えば土屋道雄『福田恆存と戦後の時代』（平成一年、日本教文社）二五六頁では「当時、掛川中学は野球が強く、甲子園出場を目指して校長をはじめ全校が野球に熱狂していた」、金子光彦『福田恆存論』（平成八年、近代文芸社）一一頁では「まるで漱石の『坊ちゃん』を地で行くような若い教師であった」、川久保剛『福田恆存』（平成二十四年、ミネルヴァ書房）四七頁では「当時掛川中は、甲子園出場を目指して、校長以



白崎 智子
(旧姓 小野)
高二十七回卒

結婚後千葉に住まい、四人の子を得て自宅近くで働いて

If life gives you lemons, make lemonade.

きました。が、昨年、常勤薬剤師に負けない仕事をしようと心に決めて勤めた市立病院非常勤の職を辞しました。最後の五年間は新生児集中治療室（NICU）専任でした。周産期医療の認定病院の為、市中病院では収容不可能なハイリスクの新生児が仮死で入院します。通常胎児は四十週間母胎に育まれ約3kgで出生しますが、二十三週四〇〇g台の片手に乗るほどのほんとうに小さい赤ちゃんが蘇生後多くの管に繋がれて手厚い医療を受けます。（途上国など1200g未満の新生児は長期間ベッドを占有するという理由で病院に収容されないところもあります）

自宅TVで、コンビニートイレに出生直後の新生児発見というニュースを耳にした翌朝、職場でその赤ちゃんと対面したり、諸事情から特別養

下、全校を挙げて野球に狂奔していた。町ぐるみといってもよかった。同四八頁では福田が校長と対立して辞職したことについて「痛快である」等々。福田の元々の文章が原因とはいえず、これらの記述には『坊ちゃん』の松山のような「ほんわか感」がなく、掛川西高の卒業生として残念な状況になっていきます。

でも「問ひ質したい」としても『年譜』の記述は真実なのでしようか。村松幸雄は藤枝小学校では副校長であり、陸軍に召集されてからも「合格しないように悪い成績を取ってね」と妹から言われていた幹部候補生試験に合格していませんから、全くの白紙答案ということとは不自然と思えます。

また『掛中掛西高百年史』所載の栗田治夫さん（中三十七回卒）の回想には「離任式の時（福田）先生がおっしゃった『世の中で一番大切なことは本当の事と嘘の事を区別することです』という言葉は今も心に深く刻まれている」とあり、『坊ちゃん』の件には全く触れておらず、これも不自然です。

さらに『問ひ質したい』と『中』の「高校野球のテレビ放送を」家の者にも見るなど言っているのだが、威令、ついに行われぬ」となっている部分が、単行本『問ひ質したき事ども』（昭和五十六年十月、新潮社刊）では「高校野球のテレビ放送を家の者も誰一人見ない」と真逆になっています。これは前章の終わりが「私などGN

子縁組する事が決まっています。出産後情を移さないため敢えて触れもせず溢れる母乳を棄て止めるお母さんに接したりもしました。小さく生まれた赤ちゃんほど後遺症や障害が残りやすく、またもともと遺伝疾患等抱えた新生児もいて、やりきれない思いで笑顔がつかない日もありました。

重苦しい気持ちの時、自分自身にも患者の背中にも、三十年來呪文の様に唱え続けてきたのが表題の諺です。会社派遣で米国に留学した夫に帯同した折、私の通ったアダルトスクールの先生が博士号持った高学歴の女性であると知った時の「友達は大学教授なのに、あなたは私達の先生で平気？」という私の失礼な質問に対する返答でした。レモンには不用品という意味合いもあります。どんな人のどんな人生でもその人なりに味わい深いレモネードをつくることができます。

来年一月小さな薬局を開業します。二杯目のレモネードをつくっていきま



P増大の煽りを食って、いつになっても預金が増えないという「クスグリ」で終わっているの、「クスグリ」の連続を避けたのかもしれません。単行本の表現では頑なさ感が漲っていることが、掛川中のネガティブな印象を強めていると感じられます。



また『問ひ質したい』と『中』に「掛川から」御前崎まで汽車に乗って二、三時間かかるのだ」とあるのは明らかで嘘ですが、これはその直前の「うかつにも（掛川を）海辺にある町と思いつこんでいた。東京に住み海も山も見たことのない私は、喜んで（掛川赴任を）承知した」に対応する「クスグリ」でしょう。これを「ここからの掛川中の話は丸ごと信じちゃいけないよ」という福田のサインと思うのは私の勘繰り過ぎでしょうか。

ところで福田は『世代の対立』を全集に収録した際に、巻末の「覚書」で「読み返してみても、『私は戦時中、克明に日記を付けていた』という文章には驚いた。私は日記を殆んど付けたことがないからである。私の周囲にいた誰かに『おいおい、戦争中と真逆のこと言って良いのかい？俺は全部記録して

日本百名城廻りに挑戦



杉森 正彦
高二十八回卒

今年七月に六十一歳を迎えた二十八回卒の杉森です。

社会人として生命保険会社に入社し、十一年前に民営化直前のかんぽ生命にIT担当役員として派遣され、昨年六月の退任を機に念願だった「日本百名城巡り」を開始しました。この夏五十年番目の城として本丸御殿が新築公開された名古屋城を見学してきたところ

「日本百名城」といってもご存知無いか方も多いかと思いますが、日本城郭協会が二〇〇六年に選定した日本の名城で、同協会がデザインしたスタンプを押印するスタンプラリーが城マニアに人気となっています。掛川城もそのひとつですが、非常に残念ながら我が郷の高天神城は選定から漏れてしまいました。

学生時代から司馬遼太郎の大ファンで、時代小説類は勿論のこと、随筆類、講演集なども読み漁っています。小説を思い出しながら城跡を訪れるのが楽しみとなっています。

この一年で最も印象に残った城を挙

あるぞ」と注意を促したかったのかも

「遠からずと言えども、当たらず」なのではないでしょうか。原文をお読み頂ければ判明なのですが、福田の主張は前章の終わりの「私などGNP増大の煽りを食って、いつになっても預金が増えない」から、本章最後の「GNPは虚妄の存在である」に続いており、夏の甲子園大会を主催している新聞社を皮肉りつつ、掛川中を「刺身のつま」にしているのだと思えます。

しかし掛川西高は「餓首」についてだけは事実かどうかを確認できる筈です。なぜならば「餓首」であれば、当然その記録が残っているからです。福田は短い期間ながらも掛川中の生徒に強い影響を及ぼしており（戦時中、福田の家族が掛川市伊達方に疎開する手引きをしたのは、中三十八回卒の鈴木由次さんです）、掛川西高は実態を調査して、虚偽であれば何らかの形で公表し、学校の名誉を護るべきだと思います。

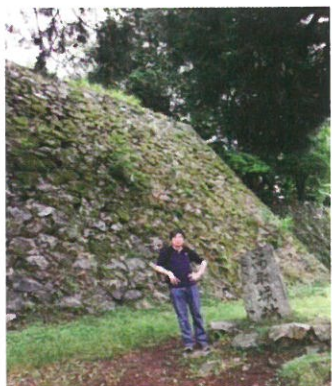
本稿は菊川市教育委員会発行「文苑きくがわ」第九号に掲載された八木訓さん（高七回卒）の「教師福田恆存と旧制掛川中学」に触発されたものです。八木さんに篤く御礼申し上げます。

げるとすれば奈良の「高取城」と北九州の「名護屋城」です。司馬遼太郎の「おお、大砲」という短編で高取藩のことは紹介されていますが、奈良の南部の山城で観光地という認識はされていません。しかし昨年、初めて訪問して山中に残された見事な石垣に圧倒されました。「日本三大山城」のひとつでもあり、壺阪寺周辺の街並みも落ち着いた雰囲気ですので、城マニアにはお勧めです。

秀吉の朝鮮出兵の基地となった名護屋城は、ここ数年で綺麗に整備され本丸跡から眺める玄界灘の風景も素晴らしい敷地も広大ですので、歴史マニアには長時間楽しめます。

姫路城や松本城といった現存天守閣も素晴らしいのですが、廃墟的な美を堪能できるのもたまらないですね。この秋から残りの五十城制覇に向け城巡りを再開しますが、北海道や九州、四国の城が多く残っており、ここからはかなり大変です。

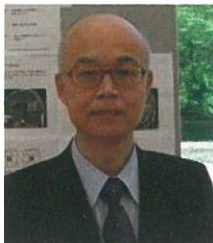
また、今年「続百名城」が選定され、当然のことながら高天神城も選ばれました。



2017年6月 高取城址

「続百名城」も制覇を目指すという気が遠くなく、その達成を最優先にしてここ数年は旅行を楽しみたいと思っています。同じような趣味がある方は是非、声を掛けて下さい。

エクソダスそして望郷



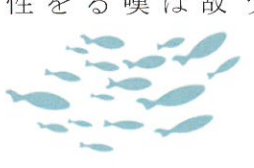
橋本 謙夫
高二十八回卒

二ヶ月ほど前のことである。H君から電話がかかってきた。「私は、橋本君の同級生のHです。テニス部をやっていたHです。覚えていますか？」高校卒業後四十年以上、H君とは話をすることが無い。彼の消息も全く知らないでいた。私はH君の面影を再生していた。私の頭に彼が高校生当時の姿で立ちあらわれてきた。「たしかH君はK村出身だったよね。K村は優秀なやつが多かったからなあ。S君は今どうしてる？K君は？A君は？」次から次へと同級生の姿が現れてきた。みんな生き生きとしている。

このとき、ふと「エクソダス」という言葉が私の頭に浮かんできた。エクソダスは「集団移住、脱出」の意味で使われるが、生物、特に魚類のそれは「回遊」と呼ばれている。エクソダス

は何故おこるのか。エクソダスを促す最初の一滴、一撃、衝動はなんであるか。ウナギ生態研究の第一人者の塚本勝巳博士はこの問題を真剣に考え続けた。博士によれば、「生物一般に生への渴望、現状打破、の性質があり、その性質が種特異的な表現型をとることにより多様な移動形態、回遊パターンを生じるのではないか」という。博士はウナギの前には鮎の生態を研究していた、春先の遡上時期（鮎にしてみれば海の環境からの集団移住である）に、水眼鏡をつけて川にもぐり鮎たちを観察したことがあるという。「稚鮎が上流を目指して遡上する顔つきをみると、皆真剣です。厳しい、あるいは凄愴と云っていい」と観察の感想を述べておられていた。

(神経内科医)



「人との出会いが財産になる。」



鈴木 謙太
高六十一回卒

1 自己紹介

私は、島田市船木にありませぬ曹洞宗松原山醫王寺の二十五代目のお坊さん弁護士でございます。中学二年生の頃に得度式（仏教における僧侶となるための出家の儀式）を済ませた後、相続・遺産分割等で悩まれている方々の力になりたいと考え、弁護士を志すようになり、幸い一回目の受験で司法試験に合格し、丸の内にある宏和法律事務所で弁護士としての人生をスタートしました。現在は、宏和法律事務所での育成を終えて、神田にある金野志保はばたき法律事務所に移籍しております。東京と静岡を行き来しつつ、お坊さん弁護士として日々頑張っています。

2 師匠の教え

私の所属していた宏和法律事務所は、ベテラン弁護士が若手を育成することを目的として設立された法律事務所です。ここで師匠である元森・濱田松本法律事務所の飯田隆先生と元最高裁判所裁判官の山浦善樹先生に出会いました。故・樹木希林さんは「人間として幸

せなのは適職に出会うことです。自分がこれだと思えることに仕えられるほど幸せなことはありません。もちろん、たくさんのお金を儲けたから適職ってことじゃないし、仕えるのは会社とかかぎりません。」と話していたそうですが、私にとって飯田隆先生・山浦善樹先生に師事出来たことはとても幸せなことだと思っています。

一口に弁護士といっても考え方は十人十色でして、企業法務の最前線を担ってきた飯田隆先生と一般民事を中心とした山浦善樹先生は面白いぐらいに考え方が違います。ただ、両師匠が口を揃えて話していたことは「人との出会いが財産になる。」ということでした。「今回の事件だけではなく、一生のお付き合いが出来るとなれば、一生のお付き合いが出来るような仕事をしなさい。」とよく言われたものです。

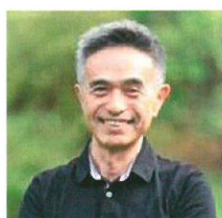
3 東京冀北会での出会い

昨年、鈴木正具会長に誘っていただいたことをきっかけに、東京冀北会の同窓会や会合に参加するようになりました。初めて同窓会に参加した時には、書道の先生・大学の教授・お蕎麦屋さんを営んでいる方・アナウンサー



曹洞宗松原山醫王寺 島田市

「健康マスター検定」やっています



樽松 正記
高二十八回卒

いきなりですが問題です。「国民健康・栄養調査」の結果を比較した場合、一九九七年と二〇一四年とでは、男女の一日あたりの平均歩数はどの程度減少しているか。

- ア 約五〇〇歩
- イ 約一〇〇〇歩
- ウ 約一五〇〇歩
- エ 約二〇〇〇歩

正解・・・イ

一九九七年から二〇一四年の間に、一日あたりの平均歩数は約一〇〇〇歩減少しています。身体活動量が減っている背景には、社会の変化が大きく関係しています。例えば、インターネットで買える物が出来るようになると、歩いて目当てのものを探すことが減ります。また、経済効果の悪い路線が消えるなど公共交通機関が衰退した地域では、車での移動が増え、歩数減少の原因となります。

（出展：健康問題／解答／解説集）
「日本健康マスター検定」の問題ですが、正解でしたか？最近この「健康」の実施・運営に関わっているのでご紹介

介させていただきました。プラス一〇分歩くと、およそ一〇〇〇歩になることも言っておきましょう。

六十歳を越えた男たちが集まってお酒を飲むと、決まって行き着くのが身体と病気の話。でも、そうやって盛り上がるのはまだまだ元気な証拠。いわゆる「未病 MEIBYO」と呼ばれる状態で、立派に健康寿命のうちです。このイイ状態をどれだけ長続きさせるか。人生一〇〇年時代をラクに美しく生き抜くポイントです。

ラクというのには長く続けようとするときにとても重要な要素です。ロードバイクで一〇〇km走るのも、ラクなほうが疲れず速く走れるというわけで、フレームを替えるのは難しいが、ホイールや変速機、サドルなどをラクな美しいものに替えたりします。そうして自分なりの一台になるのもお楽しみ



ある晴れた日に～荒川にて

今年五月に孫が生まれたジジイが、いつまで元気に漕ぎ続けられるか。一〇〇kmを指して、毎晩のスクワットはほぼ欠かさな。最後にひと言、「健康」のことは「健康マスター」で検索！

空中からフクロウDNA採取 掛川西高自然科学部に大臣賞

掛川西高自然科学部が、空中の環境DNAを採取、分析する方法でフクロウの分布調査に取り組み、今年8月、全国トップレベルの高校が参加する「全国高校生バイオサミット」(山形県)において最高の文部科学大臣賞を受賞しました。調査したのは岡本優真さん、塚本颯さん。成果は出展65点の中で圧倒的な評価を受け、審査した大学の研究者らから「鳥の生態調査のみならずインフレン

ザウイルスの検出などにも応用が期待でき、独創性や学術性の高い研究」と称賛されたということです。

少し解説しますと、現在、生物調査の一手法として、環境DNAが世界的に注目されています。その主な手法は、水に溶けだした生物の情報(DNA)を抽出、分析するものですが、本研究は、空気中から特定の種の環境DNA(この場合、フクロウ)を採取、分析したものです。この技術は、国内、海外の文献を探しても先行事例がない技術で、手法はすべてオリジナルで実施し、成果を出したものの、国際レベルで評価できる内容です。学生も大変優秀ですが、指導をされた松下保男先生も素晴らしいと思います。(野中俊文 高37回)

＜会報「東京冀北」表紙タイトル文字＞

高橋八恵子さん(高27回卒)書

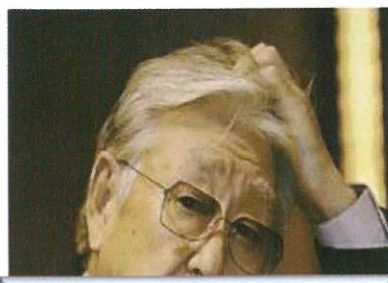
富岳復興の指導を受ける
2003年 現日書展 同人特別賞
2006年 日本かな書道展 監空賞
2014年 安芸全国書展 審査長特別賞
2017年 「高橋親水・八重子二人展」
□現日会 常任理事・監賞会 幹事

第27回東京冀北会 同窓会にて展示

稽古場こそが演劇大学だった

獄本あゆ美

追悼 浅利慶太さん



「稽古場こそが演劇大学だった」
獄本あゆ美 (高37回)

2010年当時、劇団四季の代表として福岡公演休止を発表した浅利慶太さん。「苦渋の選択」と語り、再開へ強いこだわりも示した

ただもと・あゆみ 劇作家・演出家。1967年生まれ。武蔵野音大卒。劇団四季音響部などを経て演劇ユニット「メントC」主宰。熊本県の川辺川ダムを描いた「ダム」で日本劇作家協会新人戯曲賞、文化庁芸術祭優秀賞。共著に「演劇に何ができるのか」。

「稽古場こそが演劇大学だった」と、獄本あゆ美さんが追悼文を発表した。浅利慶太さんの追悼文は、浅利さんが2010年に発表した「苦渋の選択」と語り、再開へ強いこだわりも示した。

「稽古場こそが演劇大学だった」と、獄本あゆ美さんが追悼文を発表した。浅利さんが2010年に発表した「苦渋の選択」と語り、再開へ強いこだわりも示した。

「稽古場こそが演劇大学だった」と、獄本あゆ美さんが追悼文を発表した。浅利さんが2010年に発表した「苦渋の選択」と語り、再開へ強いこだわりも示した。

※注 浅利慶太氏は掛川西高校とは関係ありません。

とにかく度肝を抜かれたら、それには会社を潰さないという鉄の意志から生まれた悲劇であり、そこには理解されない演出家としての悲しみもあった。しかしその姿と地方への粘り強さは矛盾していた。「文化は塩を売る商人のように自ら背負って足で運べ」という浅利氏の言葉はよく知られている。だから福岡での集客が捗々しくなく今度こそ撤退という下馬評は外れ続けた。その「地方への拘り」は両刃の剣であり、いく度も信念を脅かしたと思う。

経営者として語られることが多い浅利氏だが、稽古場こそが演劇大学だった。フランス演劇、築地小劇場、三島由紀夫や加藤道夫、日本と中国、メイエルホルドの粛清、岡田嘉子、佐野碩など芸術論が長くちつとも稽古

予算会議はよく荒れて暴風雨となり首が飛んだ人もいた。上演中、俳優に知らせず来場し、慢心が見られれば雷を落とし、裏方も例外なく降板させた。「お客前たちにはロングランでも、観客にとっては今日一度きりの観

「稽古場こそが演劇大学だった」と、獄本あゆ美さんが追悼文を発表した。浅利さんが2010年に発表した「苦渋の選択」と語り、再開へ強いこだわりも示した。

東京東北通信

- ◆伊藤 太平 中四十一回卒
お陰で特に悪いところはなく、毎日元気で余生を楽しんでいます。
- ◆熊井 鉄男 中四十二回卒
この十一月に八十九歳になります。それなりにまあまあ無事に暮らしています。
- ◆野口 文一郎 中四十三回卒
ご盛会をお祈り申し上げます。
- ◆鈴木 健治 中四十四回卒
元気に過ごしています。
- ◆山下 修一 中四十四回卒
骨折の為、欠席させて頂きます。皆様よろしくお伝えください。
- ◆大石 忠生 高二回卒
当日、所用のため欠席いたします。御盛会を祈念いたします。
- ◆弓田 覺造 高二回卒
掛西の校舎、校歌、天守台をなつかしく思い出します。
- ◆丹羽 昭夫 高三回卒
元気にすごしておりますが、遠出が難しくなりましたので、欠席させて頂きます。
- ◆落合 曉雄 高四回卒
当日先約行事と重なり、欠席させて頂きます。小生脳梗塞となり退院後も定期的に通院しています。皆様の益々のご健勝とご盛会を祈念申し上げます。
- ◆園田 清 高四回卒
足腰が弱くなり階段の昇り降りがわずかしく、申し訳ありませんが欠席させて頂き下さい。地域の老人会では十年以上役員を続けていますが、今年度で終了予定です。
- ◆武内 恭久 高四回卒

足が不自由で遠方に行けません。現在デイサービスにいらしています。

- ◆山崎 鏡子 高四回卒
地域自治会(老人会)の活動に参加、身辺自弁を目標・維持につとめ、季節の草花を育て、楽しく過ごしております。
- ◆川島 次郎 高五回卒
足腰不調で出掛けられません。ご盛会を祈ります。
- ◆伊藤 卓三 高七回卒
元気で過ごしています。
- ◆大橋 基宏 高七回卒
筑波山の南麓、利根川と小見川に挟まれた茨城コシヒカリの穀倉地域に住み付いて四十余年、自然環境に恵まれて健康で過ごして居ります。感謝!
- ◆馬場 達二 高七回卒
衆議院内閣総理大臣補佐官、蒲浦健太郎氏の市川駅周辺の後援会長と、法政大学市川法友会の会長及び市川南自治会会長を二十年目です。毎日忙しいです!
- ◆川村 弘史 高八回卒
幹事さん、ご苦勞様、お世話になりました。八十才を超えましたが何とか元気にしています。久しぶりに参加することにしました。
- ◆小杉 慎二 高八回卒
今年米寿を迎えました。体が儘ならぬ身となりまし。最後の機会の思い出で久しぶりに参加させて頂きます。宜しくお願い申し上げます。
- ◆佐野 角夫 高八回卒
当日海外に出ています。
- ◆戸田 仁 高八回卒
入院中加療中のため出席できません。皆様どうぞ気をつけられまして元気で過ごさせていただきます。(妻)
- ◆神間 清展 高九回卒
九回卒の同期の人の集りには毎回参

加していますが、それ以外知り合いがないので欠席させていただきます。

- ◆花島 美喜子 高九回卒
受験の時大変お世話になった音楽の赤堀庄太郎先生に四月にお会いしました。少しも変らず張りのある声でお元気な先生が私が高校の時二十代の先生だったと知りびっくりしました。今も九十を超えご活躍との事です。
- ◆萬代 利一 高十回卒
年々友人たちも少なくなり寂しいかぎりですが、小生元気です。
- ◆村田 繁 高十回卒
体調管理が第一、趣味を大切に静かな日々。独り身の寂しさの中で。
- ◆松下 英一 高十一回卒
大変ご苦勞様です。感謝しています。お陰様で中々お会いできぬ友人と会えます。今後よろしくお願ひします。
- ◆近藤 隆彦 高十二回卒
とても愉しみにしていましたが関西に行くことになりました。御盛会を祈念します。
- ◆斎藤 洋一 高十二回卒
七十六歳ですがまだまだがんばらねば! 家内は五年前に脳出血で現在リハビリ中。長女(四十一才)未婚入院中。長男(三十九才)就労支援を受けている。どこか良い仕事はありませんか。
- ◆千葉 日東 高十二回卒
歯肉ガンの手術後から通常に食事出来なくなりました。それ以来同窓会の出席が出来なくなり今日に至っています。それ以外は異常はありません。
- ◆栗倉 健二 高十三回卒
掛西(高十一回卒)の鶴田哲也氏は東京で活躍した元日本ビクターのディレクターで「殿様キングス」等多くの歌手の育て親。当時は有名な人で山口洋子さん著「演歌の虫」(直木賞)の主人公のモデルとされています。

デルとみられる。残念ながら若くして亡くなった。(掛川へもお知らせしました)

- ◆桑田 歌 高十三回卒
今年喜寿になります。
- ◆大石 武郎 高十四回卒
当日声がかかった敬老会でのバナナの叩き売りか、東北会かで悩みましたが、申し訳ありませんが私事を優先してしまいました。
- ◆鈴木 啓之 高十四回卒
細々と税理士業を行ってます。
- ◆橋山 高昭 高十四回卒
町田市と御前崎市を往復しております。
- ◆和田 三弘 高十四回卒
少々の仕事と遊びで元気に過ごしています。
- ◆川島 君子 高十五回卒
六十八才迄看護学校の教員、副校長として働き、昨年迄福祉学校の非常勤講師を勤めておりましたが現在は無職となり家事に専念しております。
- ◆大角 幸枝 高十六回卒
十一月十二日〜十八日、新宿駅東口「柿傳ギャラリー」にて陶芸の前田正博氏と二人展の為、欠席致します。お立ち寄り頂ければうれしです。よろしくお願ひします。
- ◆竹原 繁男 高十六回卒
七十才で現役引退。日々あれやこれやと過ごしております。今回は私用と当たりましてどうしても出席出来ません。皆様によるしく。
- ◆間瀬 壽子 高十七回卒
卒業生の活躍を見たり聞いたりすると、とても嬉しく思っています。
- ◆岡本 浜子 高十八回卒
浜松の県立高校を退職後、長男家族の近くに移住し五人の孫の育児を助けております。高十八回東京在住者の集りが

会員ひろば

能楽を楽しむ会



2018/9/20 渋谷セルリアンタワー能楽堂



2018/4月

21回卒同窓会



2018/6月

26回卒「第2回 小笠山26会」



有志によるゴルフ会



2018/6/15 東京よみうりカントリークラブ

27回卒 鎌倉散策



2018/2月

歴史探訪 三谷充弘さん

好評！HP掲載中

第17回	掛川時代の回顧(補注2)	林惟純と江原素六
第16回	掛川時代の回顧(補注1)	黒川正と外山正一
第15回	東京の横須賀藩士たち(4)	
第14回	金城隠士「掛川時代の回顧」	(6)生徒たち
第13回	同	(5)社交生活
第12回	同	(4)趣味生活
第11回	同	(3)結婚生活
第10回	同	(2)校長と教頭
第9回	同	(1)掛川へ赴任
第8回	「冀」とは何か? 「伯楽」とは誰か?	
第7回	補遺(4)村松孫平・大倉喜八郎	

28回卒 幹事学年



2018/9/12 封入作業後

年三回あり、改めて同級生のありがたさを知りました。東京冀北会のご盛会をお祈りいたします。

◆鬼頭 敬子 高十八回卒
楽しい会になりますようお祈りしております。山本さんの活躍を楽しみにしています。

◆鈴木 良彦 高十八回卒
すでに先約が入っており残念ですが欠席させていただきます。盛会となる事を祈念しております。

◆加納 ケンジ 高十九回卒
いつもお世話です。楽しく歌って健康を！素敵な出立会を冀北会の皆様へ感謝。(youtube)「kanofukanao」検索してください。

◆坂井 吉男 高十九回卒
一年一組、田田先生を囲む会が九月にあり、今年も多くの五十年前の同級生と旧交を温める事が出来ました。

◆橋本 和久 高十九回卒
会長、幹事、番房様です。設立当時にかかわった者として三十年は感慨深いものがあります。

◆眞野 啓 高二十回卒
横須市内で社交ダンスの活動をしています。興味のある方は二報下さい。楽しく踊りましょう。

◆安西 裕志 高二十一回卒
四十才から始めた自転車も二十七年間四台のロードレーサーを乗り継ぎ、今年に乗鞍・赤城山ヒルクライムに出場。レースに出るたびに八十五才で頑張っている人に出会いまだまだ先は長いです。

◆市川 仁 高二十三回卒
出席したいのですが、大学の業務があり残念です。また皆様にお目にかかれませうことを楽しみにしております。

◆関戸 静子 高二十三回卒
部活の仲間や、こちらに在住の同級生

達とは時々「女子会」を楽しんでおります。子育てはもちろん、介護も終わり、遅ればせながらの第二の青春、なかなかいいものです。

◆萩田 哲司 高二十三回卒
今年初めて返信します。二〇一八年五月、六十五才の定年で会社を退社し、今は働いていません。今回は都合が悪く出席できません。

◆堀池 辰巳 高二十三回卒
二〇一五年二月末退職後は、特に何もしておらず、家に居ります。当日は所用で出席できず恐縮です。

◆龍崎 博之 高二十四回卒
六十五才で仕事をやめました。冥途の土産にしたいので甲子園に是非応援しに行きたいです。そして「コンバットマリーチ」で大声出してスッキリしたいです。頑張れ掛高！

◆竹下 佳江 高二十五回卒
十一月に個展を予定しています。(油彩画展・竹下佳江展)。本日は残念乍ら参加できません。ご盛会をお祈りします。

◆大関 京子 高二十六回卒
卒業生に義足のアスリート山本さんがいらつしやるとは知りませんでした。お話しを聞きたいので参加します。

◆長沢 初江 高二十六回卒
今年もなつかしいみなさんにお会いするのが楽しみです。幹事のみなさんありがとうございます。

◆川村 敏幸 高二十七回卒
現在実家の管理中のため掛川に居住しています。今年の高校野球地方予選の健闘ぶりに久しぶりに草薙球場まで応援に行きました。残念でした。

◆石井 礼子 高二十八回卒
還暦を迎えました。仕事は人手不足のためそのまま続けております。七十才位まで健康に気を付けて頑張りたいと思っております。周りにも頑張っておられ

る方が多く目標としております。

◆樽松 正記 高二十八回卒
海外出張の為参加できなくなりまして。幹事学年として準備してきましたのに残念です。

◆橋本 律夫 高二十八回卒
神経内科医として神経難病、認知症等診療しています。また教員として学生教育もしています。六五才定年までは頑張るつもりです。

◆松田 裕子 高二十八回卒
先日還暦の同窓会に出席させていただきました。冀北会の方も気になるようになりました。今回は先に旅行の予定があったので残念です。

◆曾田 祐子 高二十九回卒
盛会をお祈り致しております。

◆田中 由枝 高三十回卒
毎年家族の行事と重なり、残念ながら参加することができずにおります。

◆竹村 聖之 高三十四回卒
ご盛会を心から祈念致しております。

◆山下 智章 高三十四回卒
埼玉へ単身赴任して十年になります。が、昨年初めて参加させて頂きました。とても有意義な会でしたので関東にいる間は是非参加したいと思っております。何時もHPでの掛川の先輩方のメッセージを楽しく読ませて頂き、特に「歴史探訪」のコーナーは私も歴史好きなのでとても興味深く拝見させて頂いております。

◆長谷川 晴彦 高三十九回卒
九月二十日の梅若研能会公演には多くの冀北会会員の皆様のご来場有難うございました。古典芸能の分野も二〇二〇年のオリンピック・パラリンピックに際し注目を集めております。これからも発信し続けて行く所存です。

訃報

◆松下 俊治 中三十九回卒
二〇一八年九月二日逝去

(掛中時代には大変お世話になりました。ありがとうございました。ごさいました。家族)

◆石間 督也 中四十回卒
二〇一七年十二月十七日逝去

◆川合 弘之 中四十四回卒
二〇一六年五月逝去

◆平松 悦次 高一回卒
二〇一八年逝去

◆戸塚 洋一 高五回卒
二〇一七年三月逝去

(いろいろお世話様になりました。皆様に宜しくお伝え下さいませ。家族)

◆鈴木 林 高八回卒
二〇一七年十二月十八日逝去

(生前中はありがとうございました。家族)

◆石川 四一 高九回卒
二〇一六年逝去

◆渡辺 穰 高十四回卒
二〇一六年三月二十二日逝去

◆茅野 千鶴子 高二十七回卒
二〇一八年一月逝去

(生前中のご厚誼に感謝申し上げます。夫)

※紙面のスペースの都合上、掲載できないメッセージがありますことをご容赦ください。

「花つれづれ2019」カレンダー 壁掛け式



カレンダー: 13ページ
出版社: 辰巳出版
23.0 x 33.0 x 0.4 cm
価格: ¥ 1,180 (税込)

花の写真美しく撮る為の技術向上に協力したいと考えています。希望者はメールでお申し込み下さい。
<http://shibutani-ken.sakura.ne.jp/>

高12回卒 鈴木 建雄
ペンネーム しほ だに けん
写真家 渋谷 健
全日本山岳写真協会(元幹事)
NHK 文化センター(青山教室)講師、
旅行会社の花旅の講師等も勤める。

掛川西校第19回卒同期会
(昭和42年3月卒業)

平成31年度開催
日時: 平成31年4月20日(土) 12:30より
場所: 千代田区一ツ橋 1-1-1 バレスサイドビル9F
レストランアラスカ バレスサイド店

平成最後の同期会、竹橋に集合!!

連絡先幹事: 鈴木正具 090-4061-8084
田口幸男 090-2919-1687

会員ゴルフ会
興味のある方、是非メールアドレスの登録を!
東京冀北会のゴルフ会復活第二回が今年の6月15日に東京よみうりCCにて開催されました。次回は来年になりますが、是非多くの参加者を期待しています。連絡をお待ちしております。

鈴木正具 (高19回) 090-4061-8084
[mail:msuzuki@jonesday.com](mailto:msuzuki@jonesday.com)

掛川西高等学校1969年卒業

(高21回) 東京同窓会

来年2019年は高校卒業50年です。記念となる同窓会を予定しています。

連絡先: 森田重敏

電話: 042-747-0115
携帯: 090-1654-5742

劇団こちらスーパーうさぎ帝国

第26回公演「クリームソーダ」

2019年2月6日(水)~11日(月・祝)
於・浅草九劇

東京で活動する劇団。静岡県浜松市出身の作家白柳力が描くエキセントリックな世界観を、癖の強い役者陣がドタバタと体現するコメディ集団。2018年東京の演劇祭で大賞を受賞。テレビ番組「スカッとジャパン」に準レギュラー出演中。

<劇団HP><http://www.kochiusa.com>
白柳力(シラヤナギツトム)(父:白柳章(23回卒))

東京冀北会ホームページ

「歴史探訪」

み だ に み つ ひ ろ

高26回卒 三谷 充弘

特種東海製紙㈱常任監査役

ご意見・ご質問等ありましたら、

お教えてください。

E-mail mmitani@gakushikai.jp

沖縄料理・越南料理
うぶすな Amusement Bar
Boomerang
沖縄・越南料理の食べ比べをお楽しみ! 最大150名、順番でピリヤード、ダーツ、カラオケ
東京都渋谷区上原1-1-20 JPビル1階 東京都新宿区高田馬場2-15-7・03ビル3.4階

掛西卒業生 半額にします!

ご予約専用番号 090-3318-0803 落合苑(高23回卒)

嶽本あゆ美戯曲集 (高校37回卒)

「太平洋食堂」「彼の僧の娘」

明治末期の大逆事件を熊野から描いた歴史大作
2019年2月発刊! 全国書店、Amazonにて発売
解説・成田龍一(日本女子大学教授、近現代史)

ハーベスト社 西東京市向台町2-11-5
tel: 042(467)6441

好評既刊「演劇に何が出来るのか?」アルファベータブックス

2017年東京冀北会同総会フォト

2017/11/18



株式会社 土井酒造場

～明治5年より145年、酒造り一筋の会社です。
開運というお酒の名前には飲む人を幸せにしたいという願いが込められています。
全ての酒造り工程に一切の妥協をすることなく、美味しいお酒がどうすれば
出来るかを考え続けています。～



静岡県掛川市小貫 633
TEL:0537-74-2006 FAX:0537-74-4077
MAIL: doisake@plum.ocn.ne.jp
URL: http://www.kaiunsake.com

取締役会長 土井 清愷 (高 10 回卒)
代表取締役 土井 弥市 (高 44 回卒)

開運

- <今期受賞歴>
- ★全国新酒鑑評会
「開運 大吟醸」金賞
 - ★静岡県新酒鑑評会
「開運 大吟醸」県知事賞 (1位)
「開運 純米大吟醸」(3位)
 - ★ワイングラスで美味しい日本酒アワード
「開運 純米大吟醸 波瀬正吉」最高金賞
「開運 特別本醸造生」最高金賞
「開運 純米 雄町」金賞
「開運 純米 誉富士」金賞
 - ★IWC
「開運 ひやづめ純米」ゴールド
「開運 吟醸」シルバー
「開運 純米誉富士」シルバー
 - ★能登杜氏自醸清酒品評会
「開運 大吟醸」能登杜氏組合長賞
「開運 大吟醸」珠洲市議会議長賞
 - ★KURA MASTER
「開運 特撰純米吟醸」プラチナ賞
 - ★雄町サミット
「開運 純米雄町」金賞
 - ★SAKE COMPETITION
「開運 純米大吟醸」シルバー

地域住民の健康に薬を通じて貢献いたします。

皆様のかかりつけ薬局としてお薬に関すること、お困りのことがございましたらご相談ください。
お薬を取りにいけない方のために在宅業務も行っております。

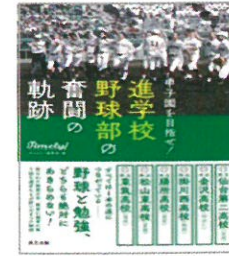
有限会社ケアブレーン ～くすの木薬局グループ～

代表取締役 山村 十吉 (高 23 回卒)

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-5-1 大手町 NS ビル B1

- ◆くすの木薬局 〒182-0034 東京都調布市下石原 2-32-2
- ◆ひまわり薬局 〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 3-23-12
- ◆くすの木薬局 矢口渡店 〒146-0095 東京都大田区多摩川 1-20-13
- ◆くすの木薬局 豊田店 〒191-0053 東京都日野市豊田 4-34-7 オーチャード 1F103 号室
- ◆くすの木薬局 保谷店 〒202-0012 東京都西東京市東町 6-6-12 西東京市メディカルモール
- ◆こま薬局 〒350-1254 埼玉県日高市久保 274-19

「甲子園を目指せ！ 進学校野球部の奮闘と軌跡」(辰巳出版)



野球部の取り組みが書籍になりました。…文武両道の進学校の野球部として、全国の6校に選ばれ取り上げていただいたことは、大変光栄です。…皆様の応援を宜しくお願いします。

ー掛川西高校ホームページー

～能に触れてみませんか～

謡(能の歌謡)、仕舞(能の)を通して伝統の世界に触れてみませんか。
お稽古は月二回。各所にて行っております。
詳細はHP (<https://nohgakudan.jimdofree.com/>)
をご確認ください。
公演情報なども掲載いたしております。

高 39 回卒 長谷川 晴彦
☎090-3339-6559 □hasegawa@nohgakudan.jp



心のかよう医療・福祉を患者さま、お客さまへ
善仁会グループ

医療法人社団 善仁会 理事 内田 金男 (高 22 回卒)

神奈川県横浜市西区高島二丁目6番32号 TEL 045-453-6772

<https://www.zenjinkai-group.jp/>

- * 横浜第一病院 吉祥寺あさひ病院
- * 総合健診センター ヘルチェック
- * 介護老人保健施設『ハートフル瀬谷』 介護老人保健施設『ユーアイピラ』

《創業明治十五年》



一階テーブル席
二階テーブル席・堀炬燵
三階お座敷

東京都中央区日本橋3-15-7
電話 03(3242)1240 FAX03(3242)1242
<http://www.yabuizu-souhonten.com>

野川 雅江 (高26回卒)

建築家と楽しむ家づくり

J.homes

あなたのライフスタイルに合わせた世界にただ一つ、あなただけの家を作る！

ジェイホームズ株式会社
代表取締役 牧野 伸一 (高 28 回卒)
<https://www.jhomes.jp> E-mail: makino@jhomes.jp
TEL: 045-912-9111 FAX: 045-910-1119
神奈川県横浜市都筑区中川 1-6-12 金陵電機ビル